

■ HÔTEL

屋根裏部屋から眺めるパリの景色にうっとり。

クール・デ・ヴォージュ 4区

このホテルが立つヴォージュ広場は、パリ最古の広場のひとつとして地元っ子に愛されているちょっと特別な場所。アール・ドゥ・ヴィーヴルを大切にしているパリジェンヌにとって、広場のクラシカルな回廊の風景こそがまさにパリだ。ホテルの屋根裏にある客室の窓を開けると鳥のさえずりとヴォージュ広場の噴水の音が聞こえ、そこから見えるバステューの塔の先端が覗く風景は、まるで絵画のような美しさ。また、ホテルの随所に飾られた中世の宗教関係の彫像や現代美術品の鑑賞を楽しめるのも、ここならではの魅力だ。



1階にはMOF(フランス国家最優秀職人章)認定のパティシエ、ヤン・プリスのスイーツが楽しめるサロン・ド・テ。



photos : MANNA KIKUTA, réalisation : KAORUKO YASUDA

パリジェンヌ気分ですテイする、最新ホテル案内。
屋根裏部屋夢のようなバスルーム、おしゃれな朝食——。パリジェンヌになりたいあなたの理想のお部屋はどれ？



左：3階から階段で上がる秘密めいた屋根裏部屋、401号室。梁の上にも本が置かれて、誰かの家を訪れたかのような演出。上奥：ヴォージュ広場は文豪ヴィクトル・ユーゴー、コレット、ダンサーのイソドラ・ダンカンら著名人が住んでいた場所として知られる。上：真似したくなる本や雑誌の飾り方。



地下には“ローマ風呂”と呼ばれるジェットバスになるプールがある。客室でOrvedaの施術も。

Cour des Vosges ▶map P153 ㊤ b-3

19, place des Vosges 75004

☎01・42・50・30・30 ㊤ CHEMIN VERT

全12室 バスタブ付き4室、シャワーのみ8室

デラックス&スーペリア各600ユーロ～、スイート2,000ユーロ～

朝食 パリジェンヌ9ユーロ、コンプレ45ユーロ

カード：(A)、(M)、(V)

<https://courdesvosges.com>

地産地消のサステナブル生活を体験。

ベッド・アンド・コワーキング 11区

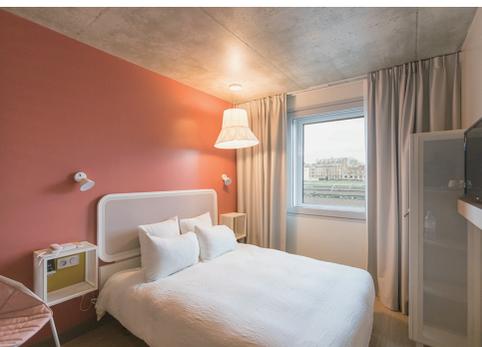
スタートアップが運営するホテル。コワーキングスペース、スポーツジム、レストランのほか、託児所や屋上菜園も擁する6000㎡のユニークな複合型施設だ。菜園で採れた野菜やハーブを使い、南フランス、イタリア、スペインから着想した炭火焼き料理が楽しめる併設のレストランは、オーガニック思考のパリジェンヌも大注目。レストランだけの利用客も少なくないが、部屋をキープしておけば夜遅くまでディナーを楽しんでも安心。スタイリッシュなインテリアの客室も居心地がいい。



左：併設のレストラン「ライア」でいただける、菜園で採れたレモンバームを炭火で焼いて燻煙したサバとハーブのサラダ「Salade」約12〜15ユーロ
左奥：18〜22㎡のシングルかダブルユースの客室。全室ミニキッチン、コーヒーメーカー付きで快適。
上：屋上の菜園で採れた野菜がダイレクトにレストランへ。シェフはジョルジュ・サンクなど高級店で腕を磨いたイタリア人のマルコ。

Bed & Coworking »map P152 D b-2

226, boulevard Voltaire 75011
☎01・88・45・30・12
📍RUE DES BOULETS
全14室 バスタブ付き4室、シャワーのみ10室
ダブル&ツイン各155ユーロ〜
朝食込み
カード：(A)、(M)、(V)
<https://bedandcoworking.com>



右：空港のラウンジに着想を得たスペース「クラブ」はプラットフォームのすぐ横。上奥：全室2名までのスタンダードタイプ。窓から駅のホームが見える。騒音や振動対策が完璧で客室内は静か。上：“テーブルドット”というコーナーで、昼間は近隣のブーランジェリーのパンやパリ近郊の農家のヨーグルト、メイド・イン・フランスのチョコレートなどのおやつ、18時30分からはシャルキュトリー、キッシュなどのおつまみが自由に食べられる。ワインかビール1杯付き。右奥：フィットネス機器はエコロジーな木製。



週末ヴァカンス前に、ちょっとひと息。

オッコ・ホテルズ・パリ 東駅 10区

東駅の旧1番ホームの場所を使っている、ほぼ駅の中にあるホテル。シンプルな客室だが必要なものは完備している。遠距離のヴァカンスに出かける前日に宿泊して、プレ旅行体験を楽しむパリジェンヌ気分を味わおう。朝食、おやつ、夕方からのスナッキングが料金込みというのもうれしい。ラウンジ「クラブ」はコワーキングスペースであり、好きなLPレコードをWi-Fiで聴けるサービスも。遠距離の旅の前に思い思いの過ごし方ができそうだ。

Okko Hotels Paris Gare de l'Est

»map P153 E b-1
30A, rue d'Alsace 75010 ☎01・40・03・10・08
📍GARE DE L'EST
全170室 全室シャワーのみ スタンダード109ユーロ〜
朝食込み
カード：(A)、(M)、(V)
www.okkohotels.com/en/page/paris-gare-de-lest/okko-hotels-paris-gare-de-lest-home.3097.html



こだわりの朝食で、エネルギーチャージする。

ヌフ・コンフィダンシエル 4区

夢のような朝食から一日を始める、それは贅沢で、日常を楽しむパリジェンヌならではの過ごし方。ここでは、ビュッフェでもルームサービスでも、コンチネンタルスタイルを基本に、何種類もの卵料理、イベリコ豚のハムなど、さまざまなオプションのあるリクスの朝食が楽しめる。フィリップ・スタルクが手がけた洗練されたインテリアデザインの客室で、窓の外に広がるパリの美しい煙突付きの屋根を眺めながら、熱いカフェオレ片手に豊かな朝食をいただくのは、格別の幸せ！

小部屋に分かれたラウンジ。シックな家具類、俳優のレトロな肖像写真が飾られて。



朝食はコンチネンタルスタイルを基本に、農家からのヨーグルト、ホテルで焼いているヴィエノワズリー、スモークサーモン、ミニクレープ、チーズ、パティスリーなどラインナップ豊かなオプションを楽しめる。

下左：ホテル最上階にある64号室のスイート・オロールは42㎡の広さ。眺めが自慢だ。下右：アメニティは高級ブランドのコダージュ。近くにエステサロンがあるので、コンシェルジュに頼むと予約してくれる。



童話に出てくるかのような、煙突のある屋根の風景。

9 Confidentiel ▶ map P153 ㊦ a-3

58, rue du Roi de Sicile 75004

☎01・86・90・23・33

🏨 HÔTEL DE VILLE, SAINT-PAUL

全29室 バスタブ付き2室、シャワーのみ27室

スーパーリア310ユーロ、クラブ400ユーロ～、

エグゼクティブ490ユーロ～、

スイート750ユーロ～

朝食29ユーロ

カード：(A)、(M)、(V)

www.hotel-9confidentiel-paris.fr/en

健康美を意識して、自分の身体と向き合う。

オイ・パリ 9区

象徴的なパリジェンヌであるオーナーの娘、シャルロットが「私らしいホテルにしたい!」と開業。空気清浄、オーガニックのアメニティなどウェルネスに配慮した客室、植物由来の食品を中心としたブランドベースという食事法に南米のタッチを入れたフレンチレストラン、花屋、ヨガ教室、ホリスティックなエステサロンと、さまざまな側面から心と身体を健やかにするまったく新しいコンセプト。ホリスティックに関心が高い、いまのパリジェンヌの日常がここにある。

Hoy Paris ▶map P154 F a-3

68, rue des Martyrs 75009 ☎01-77-37-87-20

📍 PIGALLE

全22室 全室シャワーのみ シングルルーム180ユーロ〜、ワーキングルーム190ユーロ〜、リビング・オイルーム230ユーロ〜 朝食9ユーロ〜 カード: (A)、(D)、(J)、(M)、(V) www.hoyparis.com



上奥: ヨガスタジオ「YUJ」とコラボしてホテル内でヨガ教室を開催。暗くして32°Cの室温でヨガを行う。暗闇の中で行うことで集中でき、肉体的にも精神的にも大きな効果が期待できるそう。1講座60分30ユーロ〜。さまざまなレベル、コースがある。申し込みはホテルのホームページから。左: 屋根裏の客室61号室。植物が飾られて、クリーンで快適。上左: 全客室にハーブティーをサービス。上右: バスローブはオーガニックコットン。55ユーロで販売もしている。バスルームのアメニティにいたるまでオーガニック。



Sinner ▶map P153 E a-2

116, rue du Temple 75003

☎01-42-72-20-00

📍 ARTS ET MÉTIERS、RAMBUTEAU

全43室 バスタブ付き17室、シャワーのみ26室 クラシック&スーペリア&デラックス各400ユーロ〜、スイート2,000ユーロ〜

朝食25ユーロ カード: (A)、(M)、(V)

<https://sinnerparis.com>

右: 스위트・ジュスティエーヌの円形ベッド。上: 스위트・ジュスティエーヌのサロンは重厚感のある書斎風。ホテル各所に置かれた本はこだわりのセレクトなので必見だ。右上: プールサイドにはキャンドルが点り、ミステリアスな雰囲気。キャビンもあり、Orvedaの施術が受けられる。30分110ユーロなど。



フィクションな体験をする。

シンナー 3区

もともと読書や映画が大好きなパリジェンヌは、小説の主人公や女優になった気分で刺激的な非日常空間を楽しむことも……。このホテルはそんな遊び心を叶えてくれる。赤い廊下を通して辿り着く客室には、暗い空間に浮かぶ寝室やアート本をわざと無造作に積み上げたサロン、階下のプールやラウンジバー、懺悔室から着想したビジネスセンター、礼拝堂と呼ぶブティックなど、どこも劇場のようにムーディ。足を踏み入れれば、すぐに物語の世界に入り込めるレアなホテルだ。



上：地下で大量のLPレコードを試聴できる。右：試聴スペースの奥にあるレコーディングスタジオ。フレンチ・セオリー・ラジオとしてホームページ上で音楽が聴ける。また、近隣でLPレコードを購入できる店、書店などホテルがセレクトした最先端カルチャースポットの地図を作成しているので、チェックしたい。右奥：クイーンサイズのベッドが置かれた17㎡のプロフェッショナルルーム。



音楽好きの仲間たちと戯れる。

フレンチ・セオリー 5区

文化の薫り高い学生街カルチエ・ラタンにあるこのホテルは、カルチャー&ホテル&コーヒーショップがコンセプト。地下にはレンタルできるレコーディングスタジオ、音楽好きのオーナーが収集したLPレコードを試聴できる設備を持つ。音楽が毎日に欠かせないパリジェンヌに交じってホットな曲を聴けば、パリのクラブとミュージックトレンドがわかる。客室は学生の部屋のようなカジュアルな内装。コーヒーショップも評判で、ほかのホテルの宿泊客が朝食を食べにくるほど。

French Theory ▶map P155 ⑤ c-2
 18, rue Cujas 75005 ☎01・43・54・58・10
 ⑤ CLUNY LA SORBONNE, MAUBERT - MUTUALITÉ
 全48室 バスタブ付き14室、シャワーのみ34室
 ダブルスタンダード150ユーロ～、ダブルスーパーリア250ユーロ～
 朝食15ユーロ
 カード：①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、⑲、⑳、㉑、㉒、㉓、㉔、㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、㉚、㉛、㉜、㉝、㉞、㉟、㊱、㊲、㊳、㊴、㊵、㊶、㊷、㊸、㊹、㊺、㊻、㊼、㊽、㊾、㊿、
<https://frtheory.com>



マルシェの食材を素敵なキッチンで。

ラ・クレ・シャンゼリゼ・パリ 8区

コニャックで有名なヘネシー族が所有していた、1907年竣工の邸宅がリュクスなホテルに生まれ変わった。キッチン付きの部屋があるので、近くに立つイエナのマルシェで新鮮な野菜、果物を手に入れて料理を楽しめる。キッチンには料理に必要な設備や道具を完備。上等なオリーブオイルを使ったヴィネグレットソースのサラダや、時間をかけた煮込み料理など、さまざまなレパートリーを楽しめそう。パリジェンヌのような優雅な食卓を叶えて。

La Clef Champs-Élysées Paris ▶map P154 ⑧ c-1

46, rue de Bassano 75008
 ☎01・53・75・01・60 ⑧ GEORGE V
 全70室 バスタブ付き10室、シャワーのみ60室
 エグゼクティブ～650ユーロ、スタジオエグゼクティブ～685ユーロ、
 デラックス～750ユーロ、スタジオデラックス～900ユーロ、アパルトマン～1,150ユーロ、スイート～1,300ユーロ 朝食35ユーロ
 カード：①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、⑲、⑳、㉑、㉒、㉓、㉔、㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、㉚、㉛、㉜、㉝、㉞、㉟、㊱、㊲、㊳、㊴、㊵、㊶、㊷、㊸、㊹、㊺、㊻、㊼、㊽、㊾、㊿、
www.the-ascott.com/en/france/paris/la-clef-champs-elysees-paris.html

右：客室アパルトマン301号室は、食器類から冷蔵庫、グリル機能付き電子レンジ、食洗機、コーヒーメーカー、布巾まで揃っている機能的なキッチン付き（果物とパンは付かない）。下：パッサノ通りからインターフォンを押して中に入る仕組み。隣は同系列の高級中華料理店。下奥：客室デラックスルーム303号室。水回りなど機能的な部分とオスマン様式の伝統的デザインの部分、ふたつのパーツを組み合わせ、全室同じ雰囲気構成。





上:アート作品が飾られ、心地よいソファが置かれた広々とした空間。右:スイート308号室。アーティストのアトリエから着想。客室を予約した場合、メールでプレチェックインを行い、送信されてくるQRコードか名前でチェックインする仕組み。



左:アート作品、インダストリアルデザインの照明を飾ったスイート308号室のベッドルーム。下:ルーフトップからは、広くパリの空が見えて快適。夏季はここでイベントを開催する予定もあるそうだからチェックしたい。



エントランスから中に入ると目の前に椅子が置かれた中庭が広がっている。天気がいい日はここで寛ぐゲストも。



リモートワークするなら素敵空間で。

ル・グラン・カルティエ 10区

パリではリモートで仕事をする人が増えているが、若者が集う10区にあるこのホテルには、自然光が入り、広く快適なコワーキングスペースとなっているラウンジを利用しに、パソコンを抱えたパリジェンヌたちがやってくる。若いクリエイターたちが集まる中、おいしいコーヒーや料理がいただけるカフェも付いているので、長時間でも気分よく仕事を進められる。客室は友人宅の来客用の部屋のような親しみやすい趣。地元で働くパリジェンヌの生活に溶け込んだ気分で、ビジネストリップでの滞在もおすすぬ。

Le Grand Quartier >map P153 b-1

15, rue de Nancy 75010 ☎01・76・21・61・61

🚇 CHÂTEAU D'EAU, JACQUES BONSERGENT

全86室 バスタブ付き8室、シャワーのみ78室

コクーン104~402ユーロ、コージーシングル114~412ユーロ、コージークイーン124~422ユーロ、コージーキング&ツイン各134~432ユーロ、ファンシー154~452ユーロ、スイートパノラミック304~602ユーロ、スイートテラス404~702ユーロ

朝食 カフェにてアラカルトあり、部屋に届くグッドモーニングバッグ(軽い朝食)は無料 カード: (A), (M), (V) www.legrandquartier.com